

ともに築き 未来へつなぐ 人とみどりが輝く わがまち練馬



23区最大規模の校庭芝生をもつ中村小学校でのキャンプ体験

長期計画(平成22年度～26年度)を策定

このたびは、平成22年度から26年度までの5か年を計画期間とする長期計画をまとめました。この長期計画は、区政運営の新たな指針として昨年12月に策定した基本構想を実現するための施策・事業を体系的に示すものです。

この特集号では、計画のあらましを紹介します。

▽問合せ 基本構想担当課 ☎5984・1064

新たな基本構想の実現に向けた施策・事業を明らかにします

◆計画の目標

昨年12月に策定した基本構想では、概ね10年後の平成30年代初頭を目標年次としてめざしていく練馬区の姿を「ともに築き 未来へつなぐ 人とみどりが輝く わがまち練馬」としていきます。長期計画は、この「練馬区のめざす姿」を計画目標とし、その実現に向けた施策・事業を体系的に明らかにします。

◆計画期間

基本構想が目標年次としている平成30年代初頭までの前半5か年にあたる平成22年度から26年度までを計画期間とします。

◆計画の構成

計画は、基本計画と実施計画により構成します。

◆基本計画

○基本構想に基づき、区民の参画・協働のもとに分野横断的に取り組む重点事業として、「みどり」「農」「アニメ」「人づくり」「地域コミュニティ活性化」の5つの「ねりま未来プロジェクト」を設定し、主な取組内容を示しています。

○計画期間内に取り組む政策・施策・事業を、「子ども」「健康と福祉」「区民生活と産業」「環境とまちづくり」「行政運営」の5つの分野に分けて体系的に示すとともに、各施策の5年後の目標と主な取組を明らかにしています。

◆実施計画

○計画期間の前半3か年(平成22年度～24年度)の財政計画と、計画事業(計画の目標を達成するために取り組む主要な事業)の5年後の目標と前半3か年の年次別事業計画を明らかにしています。実施計画については、社会経済情勢の変化や新たなニーズに対応するため、計画期間の中間に見直しを行い、平成24年度～26年度の計画を策定する予定です。

基本構想策定記念シンポジウムを開催します。詳しくは80面をご覧ください。

長期計画の策定にあたって

練馬区長 志村豊志郎



本長期計画は、このたび策定した新たな基本構想の実現に向けた道筋を示す施策を体系化するとともに、保育所待機児の解消や特別養護老人ホームの整備など区民ニーズにこたえる事業を積極的に盛り込みました。

区政は今、世界的な経済不況の影響を受け、厳しい財政状況に直面しております。こうした局面にあつてこそ、基本構想に掲げた「ともに築き 未来へつなぐ 人とみどりが輝く わがまち練馬」の実現をめざし、区政の課題解決に向けて限られた資源を最も効果的・効率的に活用する区政経営を進めていく必要があります。

私は、長期計画に掲げた施策・事業を着実に展開し、希望あふれる練馬区を区民の皆さまとともに築いてまいりたいと考えておりますので、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

計画を実現する仕組み

◆「区政経営の基本姿勢」に基づく計画の推進

基本構想では、区政経営の基本姿勢として3つの柱を設定しています。

- 1 区民主体、地域コミュニティ重視のまちづくり
- 2 区民と区との協働のまちづくり
- 3 持続可能な区政経営の実現

この基本姿勢をすべての政策・施策・事業を貫く考え方として、計画目標の実現に取り組んでいきます。

◆計画と行政評価との連動

各施策において、達成度を測る成果指標と5年後の目標を設定します。目標の達成状況については、行政評価において毎年行う事務事業評価、隔年で行う施策評価と連動して把握し、区民の皆さまに公表していきます。

長期計画の本書(全文掲載。総論編・基本計画編と実施計画編の2分冊)は、区民事務所(練馬を除く)、出張所、地区区民館、図書館などの区立施設、区民情報ひろば(区役所東庁舎3階)、基本構想担当課(同本庁舎6階)でご覧いただけるほか、練馬区のホームページ <http://www.city.nerima.tokyo.jp/> にも掲載しています。また、長期計画のあらましを紹介する冊子(概要版)を閲覧場所で無料配布しています。※区民情報ひろばでは、長期計画の本書を販売しています(2分冊1組900円)。

「ねりま区報」は朝日・産経・東京・日経・毎日・読売の各新聞に折り込んでお届けしています。また、駅・金融機関・郵便局・公衆浴場・ファミリーマート・セブンイレブンや区立施設にも置いています。

練馬区の特徴を活かしながら区民と区がともに取り組む

ねりま未来プロジェクト

長期計画では、基本構想に基づき、区民の皆さまとの協働により分野横断的に推進する重点事業として、「みどり」「農」「アニメ」「人づくり」「地域コミュニティ活性化」の5つのねりま未来プロジェクトを計画化しました。このねりま未来プロジェクトは、それぞれのプロジェクトのテーマに基づき、各政策分野で行っている事業を相互に連携させながら、横断的・総合的に展開しようというものです。また、プロジェクト相互の連携を図る取組も進めます。

1 みどりプロジェクト

みどりを基軸とした環境都市を実現する

- (1)みどりを愛し守る心をはぐくむ
 - 練馬みどりの葉っぱい基金のPR、民間の庭園などを対象とした新しいイベントの実施など
- (2)みどりや自然にかかわる情報を共有する
 - 環境情報メールマガジンの創設、「区民と見つけるねりまの自然」調査の実施
- (3)区民の力でみどりを守り育てる仕組みをつくる
 - 地域住民による公園・花壇の自主管理などの推進、みどりの街並みづくりへの各種助成制度の実施など
- (4)みどりを多角的に活かす
 - みどりの景観の観光資源としての活用、学校の緑化と環境学習の推進、みどりにかかわる施策と連携した(仮称)練馬区版カーボン・オフセット制度の創設など



ねりまグリーンフェスティバル

プロジェクト相互の連携を図り、区の魅力を「練馬ブランド」として高めます

<新たな練馬ブランドの発信拠点づくり イメージ>



ねりま未来プロジェクト相互の有機的な連携を図るとともに、練馬区の特徴的な資源を最大限に活かした拠点づくりを進め、区の魅力を「練馬ブランド」として高めます。

3 アニメプロジェクト

アニメを核として区内産業を活性化し練馬の魅力を拡大する

- (1)国際競争力をもつ産業へ育成する
 - 国際的見本市への出展支援、アニメーション専門の国際映画祭が開催されるフランス・アヌシー市との産業交流など
- (2)作品製作や人材育成を支援する
 - アニメ関連企業の区内への誘致、録音スタジオ等共同利用施設の整備など
- (3)アニメ文化を通して練馬の魅力を高める
 - 民間アミューズメント施設の整備支援、アニメ制作現場の見学コース整備、石神井公園ふるさと文化館(平成22年3月28日開館)でのアニメ資料展示と観光資源としての活用、練馬区独自のアニメキャラクターの開発など



松本零士さんのアニメをラッピングした区の電気自動車

4 人づくりプロジェクト

未来の練馬を担う人をはぐくむ

- (1)学校、家庭、地域の連携による子どもの健全育成を支援する
 - 学校支援ボランティアの育成、学校応援団による放課後の居場所の充実など
- (2)青少年の自立を支援する
 - 若者が文化芸術に関することを学び、成果を発表する場の拡充、児童館等を活用した若者の居場所の確保など
- (3)福祉サービスや地域産業を担う人材を育成する
 - 福祉サービスを担う人材の育成と定着への支援、区内産業への就労や創業への支援、コミュニティビジネスの推進など
- (4)地域を担う人材の育成や活動の支援を進める
 - 地域活動を担う人材の育成等を進める学習の場「(仮称)ねりま区民大学」の整備など



地域福祉パワーアップカレッジねりま

2 農プロジェクト

農の豊かさを実感できる都市をつくる



練馬大根引っこ抜き競技大会

- (1)魅力的な都市型農業を振興する
 - 農業体験農園の増設、観光・交流型事業や農業イベントの観光資源としての活用、意欲的・効率的な農業経営をめざす農業者に対する「認定農業者」の認定など
- (2)都市農地保全に向けた制度の見直しを働きかける
 - 都市農地保全推進自治体協議会を通じて国に対して制度の見直しを要望
- (3)農のあるまちづくりを推進する
 - 「都市農業・農地を活かしたまちづくりプラン」の推進、郷土景観保全地区の指定、練馬の農地を23区民共有の財産として守り活かす新しいタイプの農園整備など
- (4)食と直結する農に対しての理解を深める
 - 食育推進ネットワークを通じた食と農の情報発信

5 地域コミュニティ活性化プロジェクト

人と人とのつながりと支えあいのある地域コミュニティづくりを支援する

- (1)地域活動団体を支援する
 - 町会・自治会、NPO・ボランティア団体に対する支援
- (2)地域活動への入り口をつくり、人と人とのつながりづくりを進める
 - 地域情報の発信や相談・交流等ができる機能等をもった「入り口」となる仕組みについて検討・実施
- (3)地域活動団体のネットワークを形成する
 - 地域の実情に合わせた団体・組織間のネットワーク化を促進
- (4)相談役、調整役となる人材を確保する
 - 人と人とのつながりづくりや、地域活動団体のネットワーク化等を進めるための人材を確保
- (5)地域活動推進拠点を整備する
 - 地域活動の入り口づくりや地域活動団体のネットワーク化など、地域活動を推進するための拠点を整備



町会のもちつき大会

分野別の政策・施策と重点事業

計画では、区の政策・施策を5つの分野に分けて体系化するとともに、各施策において成果を測る指標と5年後の目標を設定しています。また、分野ごとに、5年間に取り組む重点事業を明らかにしています。

分野別の政策・施策

子ども分野

次代を担う子どもも健やかな成長を支える

子育て家庭への支援や保育サービスの充実、青少年の健全育成に向けた取組など、地域全体で子どもを見守り育てる仕組みづくりを進めます。また、開かれた学校づくりにより、地域の様々な資源を活かした学校教育の充実を図るとともに、学校を地域の核として位置付け、地域とのかわりの中で「生きる力」を育てる機会を充実します。

子ども分野の重点事業

★保育所の待機児童の解消をめざします

- 私立保育所・認証保育所の誘致・新設と既設の保育所の増改築等により、平成26年度までに約1千900名の受け入れ枠の拡大をめざします。
- 認証保育所・家庭福祉員などの認可外保育施設の量・質の充実を図ります。



区立保育所での保育の様子



子育てのひろば「びよびよ」



学校応援団ひろば事業（校庭）

子ども分野の政策・施策と主な成果指標

※ 指標の（ ）内は20年度の状況⇒26年度目標

政策11 子どもと子育て家庭を地域で支える

施策111 地域で子育てを支える

指標 子育てのひろば利用者数(100,775人⇒200,000人)

施策112 就学前の子どもの成長を支える

指標 保育所入所希望者受入率(96.9%⇒100%)

施策113 学齢期の子どもの成長を支える

施策114 支援が必要な子どもと子育て家庭を応援する

政策12 子どもが楽しく学ぶことができ、地域に開かれた学校教育を進める

施策121 地域の特色を活かした教育を推進する

指標 学校応援団構成員数(2,131人⇒3,250人)

施策122 幼稚園教育を充実する

施策123 小中学校の教育内容を充実する

指標 授業に対する理解の程度
(小学生 82.3%・中学生 68.3%⇒100%)

施策124 教育環境を充実する

指標 小中学校校舎・体育館の耐震性能を確保した棟数の割合
(71.5%⇒100%)

施策125 児童・生徒の健やかな体の成長を促す

政策13 青少年を健やかに育成する

施策131 青少年の自主的な活動を支援する

施策132 家庭・学校・地域で連携して青少年の健全育成を推進する

指標 青少年育成地区委員会事業に参加した青少年の延べ人数
(80,505人⇒85,000人)

実施計画 ■ 子ども分野の計画事業一覧

政策	計画事業名	平成21年度末実績見込み	平成26年度目標
11	子ども家庭支援センターの整備	●4か所	●5か所
	(仮称)すくすくナビゲーター事業の実施	—	●子育て情報の総合案内の基盤整備 ●(仮称)すくすくナビゲーターを子育てのひろば24か所に配置
	子育てのひろばの整備	●区営(びよびよ)5か所 ●民設8か所	●区営(びよびよ)11か所 ●民設13か所
	ファミリーサポート事業の充実	●ファミリーサポートセンター3か所	●援助依頼受付体制の充実 ●援助会員の増員・育成
	外遊びの場の提供	●検討・活動団体調査	●事業実施
	保育所待機児の解消	●認可保育所定員8,243人 ●認可外保育施設定員1,224人	●認可保育所定員9,631人 ●認可外保育施設定員1,759人
	多様な保育サービスの充実	●病後児保育4か所 ●一時預かり6か所 ●延長保育40か所 ●認定こども園2園	●病児・病後児保育5か所 ●一時預かり13か所 ●延長保育55か所 ●認定こども園7園
	放課後子どもプランの推進	●学校応援団の設置56校 ●校内学童クラブ設置(近接設置校含む)42校	●学校応援団の設置65校 ●学童クラブの校内移設・整備
	教育相談室の充実(大泉地区教育相談室の設置)	●3相談室	●4相談室
	小中一貫・連携教育の推進	●実施計画(中間報告)作成	●小中一貫教育校開校(1組) ●小中一貫・連携教育の推進 ●小中一貫教育校(2組目)の検討
	12	特別支援学級の設置	●知的障害学級 小学校10校、中学校8校 ●情緒障害等通級指導学級 小学校7校、中学校2校
(仮称)学校教育支援センターの整備		●基本コンセプト計画作成	●整備・運営
校舎等の耐震化の推進		●耐震化率81.8%	●小中学校全校の耐震補強工事完了
小中学校校舎等の改築の推進		●1校改築工事(一部)	●2校改築完了・1校設計
みどりと環境の学校づくりの推進		●校庭芝生化 28校 ●屋上緑化 9校 ●みどりのカーテン等 48校	●校庭芝生化 38校 ●屋上緑化 13校 ●みどりのカーテン等 65校
区立学校・区立幼稚園の適正配置		●4統合準備会の運営	●統合新校の開校4校 ●「第二次実施計画」に基づく適正配置の推進
13		中高生の居場所づくり	●モデル実施1か所

分野別の政策・施策 2

健康と福祉分野

高齢者や障害者などだれもが安心して暮らせる社会を実現する



区民自らの健康づくりを促進・支援するとともに、区と医療機関との連携を推進し、保健・医療環境を整備します。また、高齢者や障害者をはじめ、支援を必要とする人がその状況に応じて適切な支援を受けながら、社会参加ができるよう、地域の様々な資源や人の連携によって地域福祉を推進するとともに、福祉サービスの充実を図ります。

健康と福祉分野の重点事業

- ★区内の病床確保に向けた対策を推進します
 - 新病院の整備により500床程度を確保します。
 - 既存病院の増築・増床により200床程度を確保します。
- ★福祉サービスを担う人材を育成します
 - 練馬介護人材育成・研修センターの運営を支援します。
 - (仮称)障害福祉人材育成・研修センターを整備します。
- ★高齢者の生活を支援する施設を整備します
 - 特別養護老人ホームや介護老人保健施設の充実を図ります。
 - 地域密着型サービス拠点やショートステイの充実を図ります。
 - 高齢者相談センター(地域包括支援センター)の充実を図ります。
- ★障害者の自立を支援する取組を進めます
 - グループホーム、ケアホーム事業の充実を図ります。
 - ショートステイ事業の充実を図ります。
 - (仮称)こども発達支援センターを整備します。
 - 高次脳機能障害等の中途障害者を対象とした相談・自立訓練等支援事業を実施します。



こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問事業)



練馬介護人材育成・研修センターによる就職面接会



高齢者相談センターの窓口相談

健康と福祉分野の政策・施策と主な成果指標

※ 指標の()内は20年度の状況⇒26年度目標

政策 21 健康な暮らしを支える

- 施策 211 健康づくりを支援する
- 施策 212 健康づくりの条件整備を行う
 - 指標 食育に関心を持っている区民の割合(75%⇒95%)
- 施策 213 健康に関する危機管理を行う
- 施策 214 安全な衛生環境を確保する

政策 22 安心して医療を受けられる環境を整える

- 施策 221 地域における医療体制を確立する
 - 指標 練馬区内の一般・療養病床数(1,912床⇒2,612床)

政策 23 地域で福祉を支える

- 施策 231 地域福祉活動との協働を進める
 - 指標 人材育成事業で養成した人数(年間)(174人⇒200人)
- 施策 232 保健福祉の総合支援体制を確立する
- 施策 233 保健福祉サービスの利用を支援する
- 施策 234 福祉のまちづくりの考え方を広める

政策 24 高齢者の生活と社会参加を支援する

- 施策 241 高齢者の多様な社会参加を促進する
- 施策 242 特定高齢者等を支援する
- 施策 243 要支援・要介護高齢者を支援する
- 施策 244 高齢者の生活基盤づくりを支援する
 - 指標 介護保険施設の整備率※(1.7%⇒2.3%)
 - ※高齢者人口に対する介護保険施設定員数の比率
- 施策 245 地域で高齢者を支える

政策 25 障害者が自立して生活できるよう支援する

- 施策 251 総合相談体制を構築する
- 施策 252 サービス提供体制を拡充する
- 施策 253 障害者の就労を促進する
 - 指標 福祉施設等から一般就労した障害者数(84人⇒113人)
- 施策 254 障害者の社会生活を支援する

政策 26 生活の安定を図る

- 施策 261 生活の安定に向けた自立支援を行う
 - 指標 自立支援プログラムに基づき支援をした延べ人数(1,072人⇒1,700人)

実施計画 健康と福祉分野の計画事業一覧

政策	計画事業名	平成 21 年度末実績見込み	平成 26 年度目標
21	受動喫煙防止のための分煙化推進	●啓発活動の実施および条例の検討	●分煙化推進
	病床の確保	●練馬区病床確保・医療機能拡充検討委員会報告書作成	●新病院工事着手(500床程度確保) ●既存病院の増築・増床(200床程度確保)
23	相談情報ひろば事業の実施	●週一日型7か所 ●常設型2か所	●常設型6か所
	地域福祉パワーアップカレッジねりま事業の実施	●1～3期生入学、1期生卒業 ●卒業生、在学生の地域活動(7割程度) ●常設施設 調査・検討	●1～8期生入学、1～6期生卒業 ●卒業生、在学生の地域活動の促進(7割程度) ●常設施設運用
	福祉サービスを担う人材の確保・育成および支援	●人材育成事業研修100回 ●人材確保事業面接会等6回 ●事業者登録率60% ●障害福祉サービス事業者連絡会の設置	●練馬介護人材育成・研修センターの支援 ●(仮称)障害福祉人材育成・研修センターの運営
	高齢者センターの整備	●3館	●4館
24	高齢者の相談・支援体制の充実	●高齢者相談センター(地域包括支援センター)支所22か所	●高齢者相談センター(地域包括支援センター)支所25か所(うち介護予防拠点機能を含む1か所)
	特別養護老人ホームの整備	●1,272床	●1,842床

政策	計画事業名	平成 21 年度末実績見込み	平成 26 年度目標
24	介護老人保健施設の整備	●620床	●1,548床
	短期入所(ショートステイ)生活介護施設の整備	●216床	●288床
	地域密着型サービス拠点等の整備	●認知症高齢者グループホーム312人 ●小規模多機能型居宅介護拠点150人 ●認知症対応型デイサービス213人 ●夜間対応型訪問介護1か所	●認知症高齢者グループホーム474人 ●小規模特養54人 ●小規模多機能型居宅介護拠点450人 ●認知症対応型デイサービス249人 ●夜間対応型訪問介護2か所
	居宅系サービスの充実(ショートステイ事業の充実)	●民間事業所18床 ●区立事業所 一	●民間事業所23床 ●区立事業所 8床
25	日中活動系サービスの充実(生活介護事業所の誘致)	—	●生活介護事業所の誘致1事業所(利用定員40人)
	居住系サービスの充実(グループホーム・ケアホームの充実)	●35事業所(189人) ●区立しらゆり荘基本設計	●70事業所(364人) ●区立しらゆり荘移転(8人)
	(仮称)こども発達支援センターの整備	●基本計画策定	●開設
	中途障害者への支援の充実	●検討	●支援事業の実施

にぎわいとさくらびのあるまちを創る

区民の多様な活動を活性化し、地域の人々のふれあいを通じたつながりをつくります。また、地域の特性を活かした産業の振興により、まちのにぎわいを創出します。さらに、区民と区が力を合わせて、安心して生活できる地域づくりを進めます。

● 区民生活と産業分野の重点事業

★地域コミュニティを活性化し、区民との協働を推進します

- 町会・自治会やNPO・ボランティア団体などを支援します。
- 協働事業の提案を受け付けます。
- 活動・交流や情報の発信、相談等ができる場を整備します。

★練馬区の特徴的産業であるアニメ産業と都市農業を支援します

- 区内アニメ関連企業の集積を拡大・強化し、国際競争力のある産業に育成します。
- 都市にある農地の機能を最大限に活かした都市型農業経営を支援します。

★文化芸術・生涯学習活動を支援するための環境を整備します

- (仮称)文化芸術振興計画を策定し、推進組織を設置します。
- 若者をはじめとする多様な世代が文化芸術活動を行う場を整備します。
- 文化芸術資産の活用を図るための拠点を整備します。

★「いつでもどこでもいつでも」スポーツに親しめる施設を整備します

- 地域を担う人材の育成や活動の支援等を進める(仮称)ねりま区民大学を設置します。
- 練馬総合運動場をはじめ、3か所の屋外スポーツ施設を整備します。
- 総合体育館の改築に向けて調査・設計等を行います。

★犯罪や災害にも安全・安心な地域の態勢をつくり

- 地域で様々な防犯・防火活動を行っている団体を支援・助成します。
- 区民の防災意識や行動力の向上等を図る場として、(仮称)ねりま防災カレッジを設置します。



練馬まつり



実施計画 ■ 区民生活と産業分野の計画事業一覧

政策	計画事業名	平成 21 年度末現状	平成 26 年度目標
31	地域コミュニティ活性化の支援体制の整備	—	●(仮称)地域コミュニティ活性化プログラム策定 ●モデル地域等での実施
	区民との協働を推進するための環境整備	—	●協働のパートナーである活動主体への支援の充実 ●協働を担う人材育成 ●区民協働拠点の開設
	アニメ産業の育成・強化	●アニメ企業誘致調査 ●フランス・アヌシー市とのアニメ産業交流協定締結	●アニメ関連企業の区内誘致 ●国際アニメビジネスセンターの開設・運営 ●フランス・アヌシー市との産業交流 ●専門学校等の誘致
32	アニメ文化の普及による地域経済の活性化	●アニメ企業誘致調査	●アニメ産業と教育の連携事業実施 ●アニメアーカイブス整備 ●アミューズメント施設整備支援の実施計画策定 ●アニメ制作現場の見学コースやモニュメント整備の実施計画策定
	(仮称)産業振興会館の整備	●事業化検討	●整備・運営
	都市農地の保全	●都市農地保全推進自治体協議会活動の推進 ●都市農業・農地を活かしたまちづくりプランの策定	●都市農地保全推進自治体協議会活動の推進 ●郷土景観保全地区指定2地区 ●農とふれあえる拠点整備3拠点 ●整備3園
	練馬の農地を23区民全体の財産として活用・保全するための農園事業((仮称)練馬ふれあい都民農園)	—	—
	都市型農業の振興	●地産地消推進農業施設 35棟 ●農業体験農園 15園	●地産地消農業施設の整備支援 85棟 ●生産緑地保全に伴う基盤整備支援 50棟 ●農業体験農園施設整備20園 ●「認定農業者」の認定
	文化芸術振興の推進体制の整備	—	●(仮称)文化芸術振興計画の策定 ●文化芸術施策連絡推進組織の設置 ●文化芸術活動および多文化共生の場の整備・運営 ●文化芸術情報システムの整備・運営
33	文化芸術資産の活用	●文化芸術資産の受入・活用	●文化芸術資産の受入・活用 ●活用拠点の整備・運営
	向山庭園の改築	●基本構想策定・基本設計	●改築
	(仮称)ねりま区民大学の設置(生涯学習センターの設置)	●調査・検討	●設置・運営
	図書館資料受取窓口の設置・拡大	●1施設(高野台)	●5施設運営
	南大泉図書館こどもと本のひろば(分室)の整備	—	●南大泉図書館こどもと本のひろば(分室)整備
	区立スポーツ施設の整備	●公園内屋外スポーツ施設の整備(日本銀行石神井運動場内:基本計画、(仮称)大泉学園町九丁目公園内:実施設計)	●日本銀行石神井運動場内:整備 ●(仮称)大泉学園町九丁目公園内:一期整備、二期基本計画 ●(仮称)練馬総合運動場公園内:実施設計 ●総合体育館改築工事着手
34	地域防犯防火連携組織の確立	●8組織	●65組織
	(仮称)ねりま防災カレッジの設立	●防災リーダー育成講習修了者 150名 ●カレッジ計画の策定	●防災リーダー育成講習修了者 400名 ●カレッジの設立

区民生活と産業分野の政策・施策と主な成果指標

※ [指標] の () 内は特に記載がないものは20年度の状況⇒26年度目標

政策 31 まちの地域力を高める

施策 311 地域コミュニティを活性化し、協働を推進する

施策 312 地域活動を支える情報・機会・場の提供を行う

[指標] 地域住民からなる運営組織と協働で運営されている地区区民館の数(8館⇒22館)

政策 32 経済活動を活発にする

施策 321 練馬区の特徴的な産業を支援する

[指標] アニメ関連企業の従業者数(1,980人⇒2,500人)

施策 322 中小企業の経営を支援する

施策 323 中小企業の勤労者と就労を支援する

施策 324 消費者の自立を支援する

施策 325 都市農地を保全し都市農業を支援する

[指標] 農業体験農園の施設整備数(14園⇒20園)

施策 326 魅力的な商店街づくりを進める

[指標] 商店街におけるイベント事業の実施数(163事業⇒178事業)

施策 327 まち歩き観光を推進する

政策 33 文化芸術・生涯学習、スポーツ活動を活発にする

施策 331 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

[指標] 文化芸術・生涯学習施設利用者数および同事業参加者数(1,491,771人⇒1,800,000人)

施策 332 読書活動を支援する

[指標] 区立図書館の区民1人当たりの蔵書冊数(2.05冊⇒2.35冊)

施策 333 スポーツ活動を支援する

[指標] 週1回以上スポーツを行う成人の割合(46.2%(18年度)⇒60%(25年度))

施策 334 文化財を保存・活用・継承する

施策 335 多様な文化・社会への理解を進める

政策 34 安全で安心な区民生活を支える態勢を整える

施策 341 犯罪等に対する態勢を強化する

[指標] 「防犯・防火・防災」に関する区民の満足度(54.1%⇒60%)

施策 342 自然災害に対する態勢を強化する

政策 35 平和と人権を尊重する

施策 351 平和を尊ぶ心をはぐくむ

施策 352 人権の尊重と男女共同参画を進める

[指標] 区民の人権に対する意識の高さ(65.9%⇒70%(25年度))

分野別の政策・施策 **4**

環境とまちづくり分野

環境と共生する
快適なまちを形成する

区民・事業者と区が連携して、身近な暮らしや事業活動を環境への負荷の少ない持続可能なスタイルに転換していくとともに、みどりや水など練馬区の自然環境を活かしたまちづくりを進めます。また、道路、交通機関、公共施設などの都市基盤を、災害に強く、便利で快適に生活できるように整備します。



●環境とまちづくり分野の重点事業

★地球温暖化対策の推進とともに資源循環型社会をめざします

- 練馬区独自のカーボン・オフセット制度の創設に取り組みます。
- 太陽光発電・高効率給湯器等の設置費用を助成し、住宅や事業所での地球温暖化対策を促進します。

- (仮称)練馬区資源循環推進センターやリサイクルセンターの整備とともに、みどりのリサイクル事業を進めます。

★みどりを増やします

- (仮称)中村中央公園、日本銀行石神井運動場を取得して整備する公園などの大規模公園の整備を進めます。
- 牧野記念庭園の拡充や武蔵関公園などの改修を計画的に進めます。
- 住宅や民間施設の生け垣化、屋上緑化、壁面緑化を進めます。



リサイクルセンター活動風景



緑化協力員によるアジサイ剪定(向三谷公園)

環境とまちづくり分野の政策・施策と主な成果指標

※ 指標の()内は特に記載がないものは20年度の状況⇒26年度目標

政策41 みどり豊かなまちをつくる

施策411 ふるさとのみどりを保全し、新たなみどりをつくる

指標 市民緑地(憩いの森・街かどの森)の年間新規開設面積(2,728㎡⇒3,700㎡)

施策412 みどりを愛しはぐくむ活動を広げる

政策42 環境への負荷を低減し、持続可能な社会をつくる

施策421 区民・事業者による身近なところからの地球温暖化防止を促進する

指標 練馬区の温室効果ガスの年間総排出量(CO₂換算)
(191万7千t(18年度)⇒185万7千t(24年度))

施策422 まちづくりで環境に配慮する

施策423 区が率先して地球温暖化防止に取り組む

施策424 ごみの発生を抑制する

指標 区民一人1日当たりのごみの排出量(582g⇒530g)

施策425 リサイクルを進める

施策426 ごみの適正処理を進める

政策43 良好な地域環境をつくる

施策431 公害問題の解決を図り、地域環境の保全・改善を推進する

指標 二酸化窒素および浮遊粒子状物質が環境基準に適合している測定か所数
(13か所⇒13か所) ※全測定か所

施策432 まちの美化を進める

政策44 地域特性に合ったまちづくりを進める

施策441 区民・事業者とともにまちづくりを進める

施策442 土地利用を計画的に誘導する

指標 地区計画等により用途地域等を変更した地区(累計)(1か所⇒7か所)

施策443 調和のとれた都市景観を形成する

政策45 災害に強く生活しやすいまちをつくる

施策451 良好な市街地を形成する

施策452 まちの拠点機能を向上させる

指標 計画的なまちづくりを進めている駅周辺地区数(10地区⇒15地区)

施策453 災害に強いまちをつくる

施策454 だれもが利用しやすいまちをつくる

政策46 良好な交通環境をつくる

施策461 公共交通を充実する

施策462 道路交通ネットワークを整備する

指標 区内の都市計画道路の完成率(48%⇒55%)

施策463 快適な道路環境を整備する

政策47 安心して生活できる住まいづくりを進める

施策471 公共賃貸住宅を管理・運用する

施策472 良質な住まいづくりを支援する

施策473 だれもが安心して暮らせる住まいづくりを促進する

指標 高齢者のための設備がある住宅の割合(31.0%(平成15年度)⇒50.0%)

★生活しやすいまちづくりを進めます

- 石神井公園駅や大泉学園駅など、駅周辺地区の利便性を高め、だれもが安全に利用できるように駅前広場等の整備を進めます。

- 都営大江戸線の延伸予定地区や目白通り(放射7号線)の延伸地区、外かく環状道路沿道など、地域の環境に大きな変化が見込まれる地区のまちづくりを進めます。

- 密集市街地の整備や建物の耐震化を進め、災害に強いまちづくりを進めます。

★道路・鉄道等の基盤を整備します

- 西武池袋線の連続立体交差事業を着実に推進するとともに、西武新宿線の立体化に向けた取組を進めます。

- 都営大江戸線の東大泉学園町方面への延伸に向けた取組を進めます。

- 都市の骨格を形成する都市計画道路や生活幹線道路の整備を進めます。



石神井公園駅駅舎改築後の完成イメージ



みどりバス(コミュニティバス)

実施計画 ■ 環境とまちづくり分野の計画事業一覧

政策	計画事業名	平成 21 年度末実績見込み	平成 26 年度目標
41	特別緑地保全地区の指定	● 1 地区指定	● 2 地区指定
	公園等の整備	● 累計 628 か所 ● 拡張 2 か所 ● 改修 4 か所	● 累計 633 か所 ● 新設 5 か所 ● 拡張 1 か所 ● 改修 2 か所
	道路・河川の緑化	● 田柄川緑道再整備検討	● 田柄川緑道再整備（一部）
	みどりの街並みづくり助成	● 生け垣化 17,452m ● 屋上緑化 1,635㎡ ● 壁面緑化 80㎡ ● 緊急道路障害物除去路線助成枠拡大のPR	● 生け垣化 19,452m ● 屋上緑化 3,135㎡ ● 壁面緑化 480㎡ ● 緊急道路障害物除去路線助成枠拡大のPR
	みどりのリサイクル	● リサイクルヤードの整備 1 か所	● 剪定枝資源化事業の区内全域での実施 ● リサイクルヤードの整備 2 か所
	牧野記念庭園の拡充	● 既存部分改修工事完了	● 拡張部整備完了
42	(仮称) 練馬区版カーボン・オフセット制度の創設	● 調査・検討	● 制度実施
	住宅・事業所の地球温暖化対策設備設置補助	● 住宅への補助 815 件	● 住宅への補助 3,600 件 ● 事業所への補助 120 件
	街路灯の省エネルギー化促進	—	● 1,200 基を省エネ型街路灯に切り替え
	リサイクルセンターの整備	● 3 館	● 4 館
45	放射 7 号線沿道地区のまちづくり	● まちづくり計画案の策定	● 地区計画決定
	放射 35 号線沿道地区のまちづくり	● まちづくり調査 ● 関係機関との調整・協議	● まちづくり計画の策定 ● 平和台駅地下連絡通路整備完了
	放射 36 号線沿道地区のまちづくり	● まちづくり調査	● まちづくり計画の策定
	外環沿道地区のまちづくり	—	● 周辺地区まちづくり構想の策定 ● 沿道まちづくり構想案の検討
	補助 230 号線沿道地区のまちづくり	● 地区計画決定 2 地区	● 地区計画決定 5 地区
	土支田中央土地区画整理事業	● 整備（一部） ● 用地買収	● 整備（完成） ● 区画整理登記 ● 換地処分 ● 清算金確定
46	組合等土地区画整理事業	● 事業完了 14 地区	● 事業完了 15 地区
	地区計画制度の活用	● 都市計画決定 24 地区	● 地区計画の策定 43 地区
	練馬駅周辺地区の整備（練馬の中心核の整備）	● 北口賑わい商店街づくり：地区計画決定、生活幹線道路の用地買収 ● 南口界隈商店街づくり：電線類地中化完了・まちづくり合意形成活動 ● 千川通り沿道地区まちづくり：まちづくり合意形成活動 ● 北口有地活用：事業化検討	● 北口賑わい商店街づくり：地区施設の整備・生活幹線道路の整備 ● 南口界隈商店街づくり：電線類地中化・カラー舗装完了、まちづくり計画策定 ● 千川通り沿道地区まちづくり：まちづくり計画策定 ● 北口有地活用：事業完了
	放射 7 号線沿道地区のまちづくり	● まちづくり調査	● まちづくり計画の策定
	放射 35 号線沿道地区のまちづくり	● まちづくり調査	● まちづくり計画の策定
	放射 36 号線沿道地区のまちづくり	● まちづくり調査	● まちづくり計画の策定

政策	計画事業名	平成 21 年度末実績見込み	平成 26 年度目標
45	石神井公園駅周辺地区の整備（地域拠点の整備）	● 駅周辺市街地まちづくり合意形成活動	● 地区内 3 地区の地区計画決定
	大泉学園駅周辺地区の整備（地域拠点の整備）	● 市街地再開発事業等の都市計画決定準備 ● 駅周辺まちづくりの合意形成活動	● 市街地再開発事業 1 地区完了 ● 地区内 4 地区の地区計画決定
	生活拠点の整備	① 江古田駅駅舎整備（一部）、駅前広場基本設計等 ② 中村橋駅北口地区まちづくり合意形成活動、中杉通り等バリアフリー化検討 ③ 上石神井駅合意形成活動 ④ 武蔵関駅現況調査	① 江古田駅駅舎整備完了、駅前広場整備完了 ② 駅北口地区まちづくり地区計画決定、中杉通り等バリアフリー化整備 ③ 地区計画決定 ④ 武蔵関駅：まちづくり計画策定、上井草駅：まちづくり構想策定
	密集住宅市街地整備促進事業	● 継続地区 事業中 2 地区 （建替助成 205 戸 道路整備 24,019㎡ 公園整備 6,270㎡） ● 新規地区整備計画素案策定	● 継続地区 事業中 2 地区 （建替助成 248 戸 道路整備 43,554㎡ 公園整備 10,780㎡） ● 新規地区 事業中 1 地区
	建築物の安全対策の推進（建築物の耐震化）	● 耐震診断 237 棟 ● 実施設計 223 棟 ● 耐震改修 167 棟 ● 簡易耐震診断 1,504 棟	● 耐震診断 607 棟 ● 実施設計 583 棟 ● 耐震改修 382 棟 ● 簡易耐震診断 2,979 棟
	鉄道駅バリアフリーの推進	● エレベーター整備完了駅 18 駅	● エレベーター整備完了駅 21 駅 ● さらなるバリアフリー施設の充実
46	大江戸線延伸の促進	● 導入空間確保（一部）	● 早期の鉄道事業許可取得
	西武池袋線（練馬高野台駅～大泉学園駅間）連続立体交差事業	● I 期 上り線高架化完了	● 事業完了
	西武新宿線立体化の推進	● 東京都、沿線区市、西武鉄道への調査研究報告と勉強会の実施	● 新規着工準備採択
	エイトライナー整備の促進	● 事業計画原案の作成のための調査検討	● 事業計画原案の作成
	みどりバス（コミュニティバス）の運行	● 新規路線の調査検討(1 路線) ● 既存路線の調査検討(2 路線) ● 保谷ルート バス停追加および増便の実施	● コミュニティバス 6 路線運行 ● 乗合タクシー 3 路線実証実験後の検証
	都市計画道路の整備	● 事業中 4 区間	● 完成 6 区間 ● 事業中 4 区間
	東京外かく環状道路の整備促進	● 地域 PI を通じた国・東京都との連携 ● 地上部街路の上部利用計画の区の意見の策定に向けた準備	● 地域 PI を通じた国・東京都との連携 ● 地上部街路の都市計画の変更への働きかけ ● 高速 10 号線の調整、検討
	生活幹線道路の整備	● 事業中 7 区間	● 完成 5 区間 ● 事業中 5 区間
	快適なみちづくりの推進	● 無電柱化整備延長 2,120 m ● 歩行者横断歩道改良 184 か所	● 無電柱化整備延長 5,490 m ● 歩行者横断歩道改良 284 か所
	自転車駐車場の整備	—	● 追加整備 8,270 台

行政運営分野の政策・施策と主な成果指標

※ [指標] の () 内は 20 年度の状況 → 26 年度目標

政策 51 持続可能な区政経営を行う

施策 511 参加と連携による開かれた行政を進める

指標 区政情報の入手しやすさ、意見の言いやすさに満足している区民の割合 (42.0% ⇒ 60%)

施策 512 健全な財政運営を行う

指標 経常収支比率※ (79.2% ⇒ 80%以内)

※経常収支比率は、人件費などの経常的支出が特別区税などの経常的収入に対して占める割合で、財政構造の弾力性を測定する指標として用いられます。概ね 70%～80%が適正水準といわれています。

施策 513 区民本位の効率的で質の高い区政経営を行う

施策 514 区税負担の公平性を確保する

施策 515 基礎的な住民サービスを効率的に提供する

施策 516 医療保険等制度運営を行う

★ **学校適正配置に伴う跡施設の活用を進めよう**

○ 「区立学校適正配置第一次実施計画」に伴い、光が丘地区に生ずる 4 小学校の跡施設の有効活用を図ります。

★ **区民事務所等のサービスのさらなる拡充をめざします**

○ 区民事務所・出張所の今後のあり方の見直しを行います。

○ 大泉区民事務所を、分かりやすい場所に移転し、施設を拡充します。

実施計画 ■ 行政運営分野の計画事業一覧

政策	計画事業名	平成 21 年度末実績見込み	平成 26 年度目標
51	区政資料管理体制の整備	● 区政資料管理整備計画の策定	● 歴史的資料の収集・管理・利活用 ● 施設の整備
	新公会計制度の導入・整備	● 新公会計制度の暫定導入	● 新公会計制度の導入と有効活用
	「ねりま未来プロジェクト」の推進	● 「練馬区基本構想」策定・「練馬区長期計画(平成 22～26 年度)」策定	● 「ねりま未来プロジェクト」の推進（「新たな練馬ブランドの発信拠点」の整備）
	学校適正配置に伴う跡施設活用	● 活用基本計画の策定	● 施設開設
	関越自動車道高架下の活用	● 活用計画案の作成	● 関越自動車道高架下の活用
	区民事務所等のサービスの拡充	● 平成 20 年 1 月出張所の機能別再編(17 出張所 ⇒ 4 区民事務所 13 出張所)実施 ● 自動交付機 20 か所 21 台	● 区民事務所・出張所のあり方の見直し ● 大泉区民事務所の移転 ● 自動交付機 21 か所 22 台

分野別の政策・施策 5

行政運営分野 未来を拓く 区政経営を進める

区民の参加・参画の仕組みづくりや、区政に関する分かりやすい情報提供を進めます。また、様々な地域の資源を有効に活用しながら、区民の視点に立った質の高い行政サービスを効果的・効率的に提供します。そして、財政基盤を強固にしながら、持続可能な区政経営を行います。



【長期計画財政計画推計表】

(単位：百万円、%)

区分	22~24年度	
	合計	構成比
歳入総額	685,544	100.0
一般財源	435,897	63.6
特別区税	184,567	26.9
特別区交付金	214,289	31.3
その他	37,042	5.4
特定財源	249,646	36.4
国・都支出金	163,022	23.8
繰入金	37,123	5.4
特別区債	15,108	2.2
その他	34,393	5.0
歳出総額	685,544	100.0
義務的経費	363,373	53.0
人件費	145,474	21.2
扶助費	189,833	27.7
公債費	28,066	4.1
投資的経費	80,888	11.8
長期計画事業費	63,062	9.2
※(うち改修改築計画事業費)	(7,341)	1.1
その他改修改築計画事業費	4,685	0.7
その他の経費	241,283	35.2
長期計画事業費	661	0.1

【分野別計画事業費総括表】

(単位：百万円、%)

分野・政策	22~24年度	
	事業費	構成比
1 子ども分野 次代を担う子どもの 健やかな成長を支える	13,980	21.94
計画事業数	17	
2 健康と福祉分野 高齢者や障害者などだれもが 安心して暮らせる社会を実現する	4,566	7.17
計画事業数	16	
3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのある まちを創る	2,911	4.57
計画事業数	17	
4 環境とまちづくり分野 環境と共生する 快適なまちを形成する	41,471	65.08
計画事業数	35	
5 行政運営分野 未来を拓く区政経営を 進める	795	1.25
計画事業数	6	
計画事業費合計	63,723	100.00
計画事業数	91	

※長期計画に基づく個別計画として、区立施設改修改築計画を策定しました。この計画の事業のうち、施設の維持保全にとどまらない政策的な事業については、長期計画の事業として位置付け、()内に事業費を内数として示しています。

※各項目ごとに四捨五入しているため、各欄の合計と総額欄は一致しません。

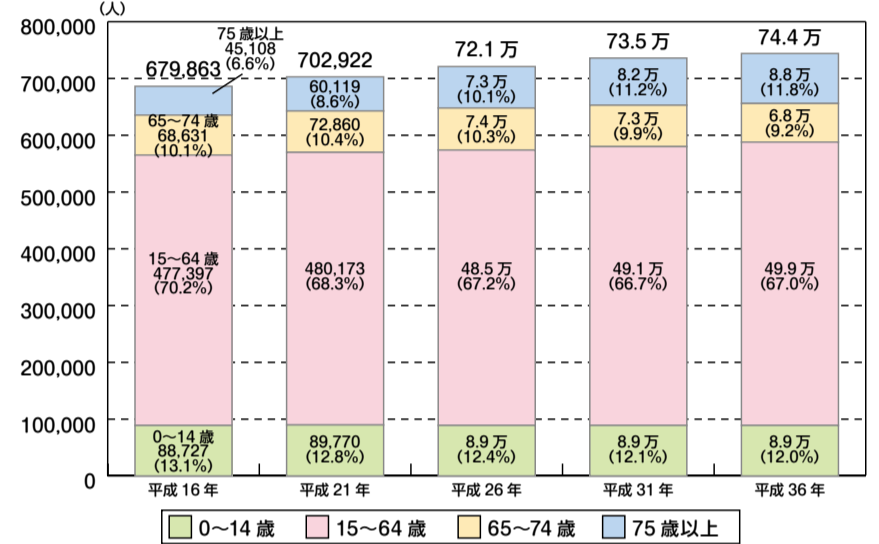
人口推計

長期計画の前提として、平成16年から21年1月までの人口の推移の実績に基づいて、平成36年までの人口推計を行いました。区の人口は、推計期間を通じて増え続け、平成26年には72万人を、平成31年には73.5万人を超えますが、増加率は徐々に低下していき、平成36年には約74万4千人となると推計されます。

財政計画 平成22年度～24年度

長期計画の策定に合わせて、その実現性を確保するため、計画期間の前半3か年の財政推計を行いました。推計にあたっては、平成22年度の政府経済見通しや各種の経済指標などを参考にしました。
この3年間、区財政は非常に厳しい状況が続くものと見込んでいます。このため、「選択と集中」の観点から、基本構想の実現に向けた事業を計画化するとともに区民ニーズの高い喫緊の課題への対応を優先するよう努めました。この結果、歳入歳出総額は3か年で約6千850億円と推計しています。

【人口推計表(年齢4区分別)】



基本構想策定記念シンポジウム

ねりま未来プロジェクト発進!

～「人とみどりが輝く わがまち練馬」をめざして～

練馬区では昨年12月、区政運営の新たな指針となる基本構想を策定しました。基本構想では、区民の皆さんとともに未来の練馬をはぐくむための重点事業として、「みどり」「農」「アニメ」「人づくり」の4つの「ねりま未来プロジェクト」を設定しています。これらのプロジェクトにかかわりの深い区民の方々をパネリストに迎え、区民と区との協働により、ねりま未来プロジェクトを推進するためのアイデアを、ご来場の皆さんとともに考えます。

3月26日(金) 午後6時30分～8時30分 練馬公民館

入場無料

パネリスト



松本 零士
漫画家、練馬区名誉区民



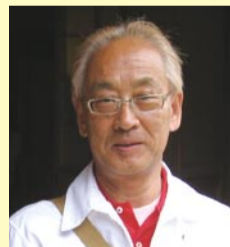
品田 穰
練馬みどりの機構代表理事



白石 好孝
農業体験農園「大泉 風のがっこう」



白石 俊子



新木 繁男
地域福祉パワーアップ
カレッジねりま1期生



高橋 司郎
練馬区町会連合会副会長

コーディネーター



大杉 寛
首都大学東京教授、
元練馬区基本構想審議会会長

- ☆とき 平成22年3月26日(金) 午後6時30分～8時30分 (午後6時開場)
- ☆ところ 練馬公民館(豊玉北6-8-1 西武池袋線・都営大江戸線練馬駅から徒歩10分)
※来場の際は電車やバスをご利用ください。
- ☆定員 300名(先着順)
- ☆申込み 当日会場受け付け
※手話通訳がつかます。
※保育室(1歳以上の未就学児対象)の利用を希望する方は、3月19日(金)までに電話で基本構想担当課 ☎ 5984-1064へ
- ☆問合せ 基本構想担当課 ☎ 5984-1064